

科目名	テーピング固定法実技							年度	2026
英語科目名	Taping fixation method							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	杉本知、青木伊之、加藤健太、宮本功三、後藤晃弘、秋田雄大、有山敦士	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師		
【科目の目的】 軟部組織損傷の急性期や反復外力の制限のために各部位、各損傷ごとに実施するテーピング固定法について、身体を代表的なテーピング方が存在する肩部、肘部、手関節部、手指部、肋骨部、腰部、大腿部、膝部、足部に分け、テーピング固定の目的、種類、範囲、施行時の肢位、各部位ごとのテープの走行、固定期間、材料、テーピング時とテーピング後に必要な配慮について理解し、正確な実技とその注意事項を学ぶことがねらいである。認定実技審査や卒後に臨床現場において活用できるよう十分に反復する。									
【科目の概要】 部位別に具体的な固定方法を学ぶ。 この授業では、プリントを用いる。1年次に学んだ運動器、特に軟部組織の基本的な構造と機能、2年次に学んだ各部位の軟部組織損傷の知識を基に、身体各部位の損傷についてテーピング固定法のテクニックにおける意義、意味を理解し、正確な実技を実施、口述できるようになるよう授業を進める。									
【到達目標】 認定実技審査に出題された際に問題なく合格でき、卒業後にスポーツの現場でアスレティック・トレーナーとして、また柔道整復師として臨床の現場において十分に活用できるよう、各部位別、各損傷ごとのテーピング固定法について、その目的、種類、範囲、施行時の肢位、各部位ごとのテープの走行、固定期間、材料、テーピング時とテーピング後に必要な配慮などについて洩れなく口述できるようになることを到達目標にしている。									
【授業の注意点】 柔道整復師の業務内容そのものを学ぶので、身だしなみに注意を払い（スクラブ着用、爪は綺麗に、装飾品は外すなど）、医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	テーピングの目的と禁忌について深く理解している	テーピングの目的と禁忌について理解している	テーピングに目的と禁忌があることは認識し理解に努めている	テーピングに目的と禁忌をなんとなくしか認識していない	テーピングの目的と禁忌を全く理解していない				
到達目標 B	テープの扱いについて深く理解し、正しい扱いを実際に行うことができる	テープの扱いについて理解はしている	テープには正しい扱い方があるという認識はあり理解に努めている	テープの正しい扱い方があることは認識しているが方法が誤っている	テープの扱いが全く分かっていない				
到達目標 C	テーピングにおける部位別の巻き方とテープ種を正確かつ正しく選択できる	ある程度正しいテーピング、テープ種を選択する事が出来る	部位別のテーピング、それに伴うテープのサイズの変化があることは認識し理解に努めている	部位別のテーピング、それに伴うテープのサイズの変化があることは認識しているが方法が誤っている	部位別のテーピングを覚える姿勢がない				
到達目標 D	綺麗に皺なくかつ正確にテープを巻くことができる	皺が多少よるものの概ね綺麗かつ正確にテープを巻くことができる	皺はよっているものの正しい巻き方ではある	皺がよっているだけでなく正しい巻き方ではない	全く覚えていないため巻くことが出来ない				
到達目標 E	テープで固定する肢位、範囲、期間を正確に理解し説明できる	テープで固定する肢位、範囲、期間を理解している	テープで固定する肢位、範囲、期間があることは認識し理解に努めている	テープで固定する肢位、範囲、期間があることは認識しているが、内容が誤っている	テープで固定する肢位、範囲、期間を全く理解していない				
【教科書】 教科書（包帯固定学公益社団法人全国柔道整復学校協会 監修）に準拠する。									
【参考資料】 なし（自身作成のプリントを配布）									
【成績の評価方法・評価基準】 全体の70%は試験と課題を総合的に評価する。残り30%は授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		テーピング固定法実技			年度	2026	
英語表記		Taping fixation method			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	特に重要な部分の復習②	膝部の徒手検査、テーピング固定を正しく理解し実践できるか	1	膝関節靭帯損傷、半月板損傷の徒手検査法	ACL、PCL、側副靭帯損傷の徒手検査法の説明と、患者、助手への指示、検査の各動作、検査の評価が適切に出来る	3	
			2	固定準備と患肢の肢位	患肢に適したサイズのテープその他必要なものの準備を適切にでき、固定に適した位置取り、患者への患肢の肢位の指示が適切にできる		
			3	固定の出来上がり	テーピングの正しい範囲、速さで、丁寧に轢や弛み無く綺麗な出来栄で実践する事ができる		
2	特に重要な部分の復習③	大腿部、下腿部の徒手検査、テーピング固定を正しく理解し実践できるか	1	大腿部、下腿部損傷の徒手検査法	大腿部、下腿部損傷の徒手検査法の説明と、患者、助手への指示、検査の各動作、検査の評価が適切に出来る	3	
			2	固定準備と患肢の肢位	患肢に適したサイズのテープその他必要なものの準備を適切にでき、固定に適した位置取り、患者への患肢の肢位の指示が適切にできる		
			3	固定の出来上がり	テーピングの正しい範囲、速さで、丁寧に轢や弛み無く綺麗な出来栄で実践する事ができる		
3	特に重要な部分の復習④	肩部の徒手検査、テーピング固定を正しく理解し実践できるか	1	肩関節損傷の徒手検査法	肩関節損傷の徒手検査法の説明と、患者、助手への指示、検査の各動作、検査の評価が適切に出来る	3	
			2	固定準備と患肢の肢位	患肢に適したサイズのテープその他必要なものの準備を適切にでき、固定に適した位置取り、患者への患肢の肢位の指示が適切にできる		
			3	固定の出来上がり	テーピングの正しい範囲、速さで、丁寧に轢や弛み無く綺麗な出来栄で実践する事ができる		
4	前期で習得していない徒手検査法①	脊柱部、胸部部の徒手検査法を正しく理解し実践できるか	1	頸部の徒手検査法	頸部の各徒手検査法の説明と、患者、助手への指示、検査の各動作、検査の評価が適切に出来る	3	
			2	腰部の徒手検査法	腰部の各徒手検査法の説明と、患者、助手への指示、検査の各動作、検査の評価が適切に出来る		
			3	胸部の徒手検査法	胸部出口症候群の各徒手検査法の説明と、患者、助手への指示、検査の各動作、検査の評価が適切に出来る		
5	前期で習得していない徒手検査法②	脊柱部、胸部部の徒手検査法を正しく理解し実践できるか	1	肘部の徒手検査法	肘部の各徒手検査法の説明と、患者、助手への指示、検査の各動作、検査の評価が適切に出来る	3	
			2	手関節、手指部の徒手検査法	手関節、手指部の各徒手検査法の説明と、患者、助手への指示、検査の各動作、検査の評価が適切に出来る		
			3	股関節の徒手検査法	股関節の各徒手検査法の説明と、患者、助手への指示、検査の各動作、検査の評価が適切に出来る		
6	下肢のテーピング固定法	下肢のまだ習得していないテーピング固定を正しく理解し実践できるか	1	アキレス腱炎のテーピング	アキレス腱炎のテーピングが正確かつ適切にできる	3	
			2	足底腱膜炎のテーピング	足底腱膜炎のテーピングが正確かつ適切にできる		
			3	ジャンパー膝のテーピング	ジャンパー膝のテーピングが正確かつ適切にできる		
7	上肢のテーピング固定法	上肢のまだ習得していないテーピング固定を正しく理解し実践できるか	1	肘関節のテーピング	肘内側側副靭帯損傷のテーピングが正確かつ適切にできる	3	
			2	手関節のテーピング	手関節掌、背、橈、尺屈の制限テープが正確かつ適切にできる		
			3	手指部のテーピング	手指部損傷のテーピングが正確かつ適切にできる		
8	振り返り	ここまで学んだ知識、技術を正しく理解し実践できるか	1	特に重要な部分の復習	肩部、大腿部、下腿部、膝部、足部の徒手検査法の説明と患者、助手への指示、検査の動作、検査の評価、テーピング固定が適切に出来る	3	
			2	下肢のテーピング固定法	アキレス腱炎、足底腱膜炎、ジャンパー膝のテーピングが正確かつ適切にできる		
			3	上肢のテーピング固定法	肘内側側副靭帯損傷、手関節運動制限、手指部損傷のテーピングが正確かつ適切にできる		
9	前距腓靭帯損傷のテーピングの復習①	前距腓靭帯損傷へのテーピングを正確かつ適切に実践できるか	1	固定材料	患肢に適したサイズのテープその他必要なものの準備を適切にできる	3	
			2	固定準備と患肢の肢位	固定に適した位置取り、患者への患肢の肢位の指示が適切にできる		
			3	固定の出来上がり	テーピングの正しい範囲、速さで、丁寧に轢や弛み無く綺麗な出来栄で実践する事ができる		
10	前距腓靭帯損傷のテーピングの復習②	前距腓靭帯損傷へのテーピングを正確かつ適切に実践できるか	1	前回の振り返り	固定材料、準備、指示、固定の出来上がりについて、前回より質を高める	3	
			2	バリエーション①	より固定性を高める、或いは弱めるテーピングについて理解し実践できる		
			3	バリエーション②	足関節テーピング固定の他のバリエーションについて理解し実践できる		
11	膝関節のテーピングの復習①	膝関節側副靭帯損傷へのテーピングを正確かつ適切に実践できるか	1	固定材料	膝MCL、LCL損傷に関して、患肢に適したサイズのテープその他必要なものの準備を適切に出来る	3	
			2	固定準備と患肢の肢位	固定に適した位置取り、患者への患肢の肢位の指示が適切にできる		
			3	固定の出来上がり	テーピングの正しい範囲、速さで、丁寧に轢や弛み無く綺麗な出来栄で実践する事ができる		
12	膝関節のテーピングの復習②	膝関節十字靭帯損傷へのテーピングを正確かつ適切に実践できるか	1	固定材料	膝ACL、PCL損傷に関して、患肢に適したサイズのテープその他必要なものの準備を適切に出来る	3	
			2	固定準備と患肢の肢位	固定に適した位置取り、患者への患肢の肢位の指示が適切にできる		
			3	固定の出来上がり	テーピングの正しい範囲、速さで、丁寧に轢や弛み無く綺麗な出来栄で実践する事ができる		
13	大腿部、下腿部のテーピングの復習	ハムストリングス、下腿三頭筋肉離れのテーピングを正確かつ適切に実践できるか	1	固定材料	ハムストリング肉離れに関して、患肢に適したサイズのテープその他必要なものの準備を適切に出来る	3	
			2	固定準備と患肢の肢位	固定に適した位置取り、患者への患肢の肢位の指示が適切にできる		
			3	固定の出来上がり	テーピングの正しい範囲、速さで、丁寧に轢や弛み無く綺麗な出来栄で実践する事ができる		
14	肩部のテーピングの復習	肩部へのテーピングを正確かつ適切に実践できるか	1	固定材料	肩鎖関節損傷、肩外転・外旋制限に関して、患肢に適したサイズのテープその他必要なものの準備を適切に出来る	3	
			2	固定準備と患肢の肢位	固定に適した位置取り、患者への患肢の肢位の指示が適切にできる		
			3	固定の出来上がり	テーピングの正しい範囲、速さで、丁寧に轢や弛み無く綺麗な出来栄で実践する事ができる		
15	その他の上肢、下肢のテーピング固定法の復習	その他の上肢、下肢のテーピングを正確かつ適切に実践できるか	1	上肢のテーピング固定法	肘関節、手関節、手指部のテーピングが正確かつ適切にできる	3	
			2	下肢のテーピング固定法	膝関節、アキレス家、足底部のテーピングが正確かつ適切にできる		
			3	距腿関節損傷のテーピング	一番大事で巻く頻度の高い足関節捻挫のテーピングを医療従事者のレベル（医療機関で行う水準）で正確かつ適切に実践できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考等